

事務事業名		市誌編さん事業			会計	一般会計					
課等名		歴史研究所			事業種別	政策		開始	16	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり							
		施策	61	地域資源の発見・資産化							
目的	対象(誰・何を)	・市民			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	飯田・下伊那の歴史を知る。				飯田市の人口(人) (H23.10.1推計人口)			103947		
	向上させたい上位施策の成果指標	活用できる状態が整った地域資産の数									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	一般向け図書の配布・販売数(単年度)『飯田・上飯田の歴史』・『みるよむ まなぶ…』・『いとなむ はたらく…』・『満州移民』・『森本家』等			840	2809	600	500			
	成果指標	子ども向け図書の配布・販売数(単年度)『水引のまち飯田』等			100	65	50	50			
定性目標											
事業概要	<p>自分たちの地域を知り、地域を大切に思う心の醸成を目的に、本の刊行で終わらない多面的で永続的は事業とし、調査・研究事業の集約の場として位置づけ、地域史料集(『飯田下伊那地域史料叢書』)と単位地域史叙述の二つを柱とする出版事業に取り組み、地域の歴史を深める活動として継続していく。</p> <p>1『飯田・下伊那史料叢書』 ①基礎史料(「地域史料」に包摂できないもの) ②地域史料 2 地域史叙述 ①単位地域の全体史 ②テーマ史 ③飯田市一帯の概説書</p>										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 『飯田・上飯田の歴史』上巻刊行				1 上巻刊行部数			1 1000部			
	2 『飯田・上飯田の歴史』下巻執筆、編集				2 下巻執筆数			2 50原稿			
	3 『飯田・上飯田の歴史』下巻刊行				3 下巻刊行部数			3 1000部			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		5,712	15,762	11,343	1,997	(そ)諸収入2,186千円 23→24 繰越明許1,200千円					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		413	2,100	3,386	1,300						
一般財源		5,299	13,662	7,957	697						
人件費計(千円)②		10,728		11,622							
正規職員所要時間		3,000		3,250							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		16,440	15,762	22,965	1,997						
事業内容・目標達成状況の振り返り	『飯田・上飯田の歴史』上・下巻の編集を行い、刊行した。上巻の販売については、公民館・図書館・美術博物館等へ協力を依頼し、830冊を販売・配布した。市民への普及のため、『飯田・上飯田の歴史』関連の出前講座を55回開催し、市民の自己学習の展開につなげた。(内公民館との連携22回)										
改革改善の考え方	①問題点	『飯田・上飯田の歴史』の刊行にあたり、市外の執筆者が多いため、原稿のやり取りに時間を要し、原稿の作成が予定どおりに進まないことが多々あった。『飯田・上飯田の歴史』を刊行することで、市誌編さん事業が終了する印象がある。									
	②改革提案	連絡を密に行い、定期的に進行状況を全員が確認を行う等を、次期刊行計画に盛り込む。刊行物の継続的な出版と教育活動を通じて還元することにより、地域の歴史に対する関心を高める。									